

## 平成の 災害救護

県内外において災害が多かった平成。

日本赤十字社は、平成の数々の被災地において災害救護活動を行ってきました。

「苦しんでいる人を救いたい」

私達は、皆様のその「思い」を「かたち」に変えて災害救護をはじめとした様々な人道支援活動を行っています。



### 特集：平成の災害救護

(日本赤十字社鹿児島県支部の災害救護活動)

- ・平成31年度一般会計予算報告
- ・赤十字災害救護サポーター
- ・聞いて効いて VOL.69 「自宅でできる服薬管理」
- ・赤十字クイズ!



# 平成の災害救護 (日本赤十字社鹿児島県支部の災害救護活動)

## 平成5年8月 8・6水害

鹿児島市を中心に県内各地を襲った集中豪雨による被害。県内各所に救護班合計9個班を派遣。



竜ヶ水地区の崖崩れで海上から救出された被災者を桜島フェリー・ターミナルで収容し、救急車で各病院へ搬送。



避難所巡回診療班の様子

## 平成7年1月 阪神・淡路大震災

1月17日に兵庫県淡路島北部を震源とするマグニチュード7.3の巨大地震が発生。当県支部より救護班2個班を派遣し、災害現場へ救援物資及び輸血用血液を輸送。



## 平成12年10月 鹿児島県悪石島地震災害

10月2日から3日にかけて悪石島において震度4~5強の強い揺れを計5回観測。避難した島民の健康管理のため、県の防災ヘリコプターにより救護班1個班を派遣。



悪石島コミュニティセンターにて

## 平成18年4月 高速旅客船集団災害事故

4月9日夕方に、屋久島から鹿児島に向けて運行中の高速船による衝突事故が発生。指宿市地区消防組合の要請を受け、救護班1個班を派遣し、山川港において救護活動を行った。



山川港での救護活動の様子

## 平成18年7月 鹿児島県北部豪雨水害

7月20日から23日にかけて県北部を豪雨が襲い、崖崩れや河川の氾濫が発生。大口市(現・伊佐市)へ避難所の巡回診療のため救護班1個班を派遣。また、さつま町ボランティアセンターへ看護師2名を派遣。



巡回診療の様子(大口市浜里公民館)



避難所に運ばれた救援物資

## 平成27年5月 口永良部島新岳噴火災害

5月29日に口永良部島新岳が爆発的噴火し、島民全員が屋久島本島へ避難。噴火発生3時間後に、救護班1個班と連絡調整員が救援物資とともに、鹿児島海上保安部の巡視船にて屋久島へ出発し島民の健康相談などを実施。救護班と入れ替わり、こころのケア要員2名を派遣。



海上保安庁の巡視船に乗り込む救護班



こころのケア班の活動の様子



避難した被災者へ屋久島町赤十字奉仕団が率先して炊き出しを実施

## 平成28年4月 熊本地震

4月14日夜から熊本県を中心に震度6以上の地震が多発。4月15日未明に連絡調整員の派遣とともに、救援物資を緊急輸送。被害の大きかった益城町などへ救護班を4個班、本部運営支援員等延36名を派遣。



熊本県支部からの要請に基づき、毛布1,000枚をトラックに積み込む様子



## 平成5年9月 9・3 台風13号災害

日置郡金峰町(現・南さつま市金峰町)大坂扇山地区で発生した山崩れ災害。救護班2個班を派遣。



被災地域にて

川辺郡川辺町(現・南九州市川辺町)小野地区で発生した土石流災害。救護班1個班を派遣。



土石流の中から救出された子どもの手当てをする救護班(川辺町保健センター)



避難所への救援物資搬入の様子

## 平成16年10月 新潟県中越地震

10月23日に新潟県中越地方を震源とするマグニチュード6.8の地震が発生。12月まで強い余震が頻発し、避難所生活が長期化。日赤は当災害よりこころのケアを本格的に開始し、当県支部より救護班1個班、こころのケア要員を3名派遣。



## 平成17年9月 鹿児島県台風14号災害

9月5日から6日にかけて襲った台風14号により、垂水市において崖崩れ・土石流災害が発生。救護班を2個班派遣。防災ボランティアや青年奉仕団などの派遣も行った。



道の駅たるみず内に設置した救護所



## 平成22年10月 奄美豪雨災害

10月18日から21日にかけて活発な停滞前線により奄美地方において豪雨被害が発生。救護班を2個班派遣。自衛隊の協力を得て、救援物資輸送や孤立した避難所および地域への巡回を行った。



自衛隊輸送機で救援物資輸送(鹿屋自衛隊基地)



住用地域に設置された救護所



被災地域の巡回診療

## 平成23年3月 東日本大震災

3月11日に三陸沖を震源とする日本周辺で発生した観測史上最大規模(マグニチュード9.0)の広範囲に渡る強い地震により、大津波が発生。岩手県・宮城県・福島県の沿岸部では壊滅的な被害を受けた。当県支部では同日に対策本部を設置し、同年7月17日までに救護班5個班、病院支援要員、こころのケア要員など計58名を派遣。



避難所小学校教室でのこころのケア活動の様子



※被災者のプライバシーを考慮し、顔に加工を施している部分があります。

## 平成災害の被災地域に対する日本赤十字社鹿児島県支部の支援実績

### ●医療救護班 災害12件に32個班、延239名を派遣

【参考】標準的な1個班の編成要員数⇒医師1名、看護師3名(看護師長含)、主事2名の計6名編成

### ●こころのケア要員 災害3件、延15名を派遣

### ●災害救済物資 78,100個(枚)配付

(毛布・タオルケット・ブルーシート、緊急セット など)



## 赤十字災害救護サポーター

～ 赤十字の救護活動に協力してくださるパートナー団体を募集しています! ～

赤十字災害救護サポーターとは、国や県等を補完するために行う赤十字の災害救護活動にご理解いただき、継続的に日赤活動資金(毎年、5万円以上)のご支援をいただける企業・団体様のことです。赤十字災害救護サポーターになっていただいた企業・団体様等には「赤十字災害救護サポーター認定証」の贈呈及び「赤十字かごしま(広報紙)」等の情報提供を行うとともに、日本赤十字社鹿児島県支部ホームページやプレスリリース等により公表します。

### ●表彰

赤十字の活動資金として、ご寄付いただいた累計額に応じて、以下の表彰を贈呈させていただきます。

#### 日本赤十字社の表彰制度(法人)



10万円  
支部長感謝状



20万円  
銀色有功章(盾)



50万円  
金色有功章(盾)



金色有功章受章後  
さらに50万円  
社長感謝状

〈赤十字災害救護サポーターの内容や手続き等に関するお問い合わせ先〉  
日本赤十字社鹿児島県支部 組織振興課 TEL099-252-0600

### ●県内すべての企業・団体様へのお願い(ご支援方法)

赤十字災害救護サポーター以外の企業・団体様につきましても、ぜひ以下のようなお取組をお願いいたします。

- 各企業・団体様の職場・店舗への**寄付金付き自動販売機**の設置=設置済みの自動販売機の収益の一部を赤十字に寄付
- 各企業・団体様の職場・店舗への**赤十字支援BOX**(募金箱のようなもの=企業・団体様からの依頼)の設置
- 各企業・団体様の職場・店舗での開催する**行事やチャリティーイベント等**において、収益の一部を寄付
- 各企業・団体様の職場・店舗での赤十字ポスターの貼付
- 各企業・団体様の商品等に「**赤十字支援マーク**」を表示し、売上げの一部を寄付
- 各企業・団体様において、日赤広報用のノボリやポスター等を定期的に掲出・展示
- 各企業・団体様において、赤十字の事業活動を支援するための商品等の提供
- その他、県支部の活動を支援するための特別なご協力(各企業・団体様の職場での会費の募集・寄付など)

# 5月は赤十字運動月間です。 赤十字会費(活動資金)へのご協力をお願いします。



日赤鹿児島県支部では、災害発生時、迅速に傷病者を救護できるよう、鹿児島赤十字病院の医師や看護師などからなる医療救護班を常時8個班編成するとともに、訓練を行うなど今後いつ起こるか分からない災害等に備えています。

また、被災された方々が必要とされる救援物資の備蓄及び配付を行っています。

## 災害救援物資



ブルーシート

毛布

タオルケット

緊急(日用品)セット

災害救護活動以外にも、一般の方々に正しい一次救命処置や応急手当などを学んでいた「救急法等の講習」や「赤十字奉仕団の活動」、未来を担う子どもたちの健全育成のための「青少年赤十字活動」、近年、増加している災害に備え“自助”と“共助”の力を高めるための「赤十字防災セミナー」などを行っています。

このような **日本赤十字社の人道支援活動を行うための財源は、すべて皆様からお預かりする赤十字会費(活動資金)により支えられています。**



救急法等の講習



赤十字奉仕団

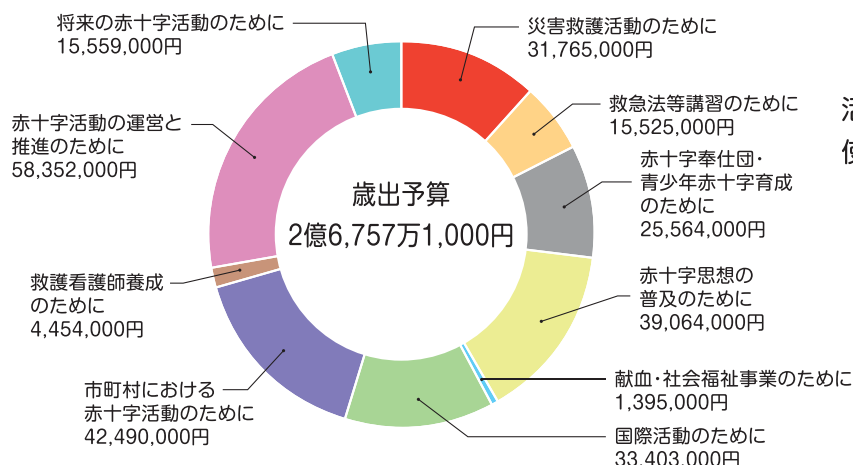


青少年赤十字



赤十字防災セミナー

## 平成31年度 一般会計予算



皆様からお預かりする活動資金は、このように使わせていただきます。



# 効 聞 いて て

VOL.69

## 自宅でできる服薬管理

鹿児島赤十字病院 薬剤部

ご高齢の方は、複数の病気を患っているために多くの薬を服用していることも少なくありません。認知機能の低下により、薬の自己管理が難しくなり、薬を飲み忘れたり、飲み間違えたり、飲んだことを忘れて重複服用してしまったりする可能性が出てきます。薬によっては、決められた服用方法を守らないと命に関わる危険性があるものもあります。そこで重要なのが服薬管理です。今回は服薬管理の工夫の例についてご紹介します。

### 〈薬を一包化する〉

複数の薬を服用タイミングごと(朝食後、昼食後、夕食後、寝る前など)にひとまとめにすると、薬の飲み忘れ・飲み間違いを減らすことができます。一包化を希望される場合は、医師や薬剤師などにご相談ください。



### 〈服薬ボックスやお薬カレンダーなどを使う〉

曜日や日付が分かる状態の方であれば、服薬ボックスやお薬カレンダーなどの服薬支援用品を使うとよいでしょう。それらを利用することにより、該当時刻の薬を服用したかどうか確認することができます。1日1回の服用であれば、大きなカレンダーに薬を貼りつけておくだけでもうまくいくことがあります。

### 〈目に見える所にメモを置く〉

認知症には、耳で聞いたことはすぐ忘れるが、目で繰り返し見て確認できることは通じやすいという特徴があります。高齢者の見やすい位置に「薬を飲みましたか?」と書いたメモを置いておくと、自分で服薬を確認する場合があります。ただしこれは、書いてある文章に関心がある場合のみ有効で、興味を持たなくなってしまうと、効果はなくなってしまいます。

### 〈家族がタイミングを見計らって電話する〉

遠方に住んでいる家族でも、電話一本で服薬管理支援が可能になることがあります。毎回決まった時刻に家族から電話を受けることで、高齢者がきちんと服薬管理できたケースもあるようです。

## 赤十字クイズ!!

### Q. 赤十字の基本7原則について

「〇〇、公平、中立、独立、奉仕、単一、世界性」

〇〇に入る言葉は?

- ① 自主    ② 権利    ③ 人道    ④ 予防

☆ヒント☆ 赤十字活動の基本で、他の原則を実現するために必要となるものです。

正解された方に、抽選で「赤十字オリジナルエコバッグ」をプレゼント!  
下記事項を明記の上、郵送・メール・FAXにて2019年6月30日(日)までにご応募ください。

- ① お名前                      ② 郵便番号・ご住所  
③ 電話番号                  ④ 年齢  
⑤ クイズの答え              ⑥ 「赤十字かごしま」へのご意見・ご感想

## 赤十字オリジナルエコバッグを 抽選で3名様にプレゼント!



【サイズ】約35センチ×約45センチ  
【素材】ナイロン

### 〈応募先〉

〒890-0064 鹿児島市鴨池新町1番5号  
日本赤十字社鹿児島県支部組織振興課  
TEL:099-252-0600 FAX:099-258-7037  
E-mail:shibu-rc@kagoshima.jrc.or.jp

※当選者の発表は、プレゼントの発送をもって代えさせていただきます。

※本プレゼントの応募を通じてご提供いただきました個人情報、本プレゼントの運営に関すること以外の目的で使用することはありません。

## ご自身や故人の思いを赤十字へ

近年、「自分が亡くなった後、これまで築いた財産の一部を赤十字に寄付したい」といったご相談や、大切な方を亡くされたご遺族から、「故人の遺産を社会のために役立ててほしい」というお申し出を多くいただいております。

当県支部では、こうした尊いご意思に応えるために、遺産・相続財産の寄付などを承っております。また、これらの寄付金には非課税となる税制上の優遇措置があります。

詳しくは、日本赤十字社鹿児島県支部組織振興課までお問い合わせください。

ホームページで「遺贈パンフレット」の内容もご覧いただけます。

 日本赤十字社 鹿児島県支部  
Japanese Red Cross Society

 099(252)0600

URL : <http://www.kagoshima.jrc.or.jp/>  
E-mail : [shibu-rc@kagoshima.jrc.or.jp](mailto:shibu-rc@kagoshima.jrc.or.jp)

日赤鹿児島県支部

検索



## 赤十字見学者募集!

皆様からお預かりした会費がどのように使われているか見学してみませんか? 詳細は上記連絡先へお問い合わせいただくか、またはホームページ「施設見学」メニューをご覧ください。